



京都市立 芸術大学 総合基礎 実技展

2017

7月25日|火| - 7月27日|木|

9:00-17:00 観覧料 無料

京都市立芸術大学学生会館ホール、小ギャラリー
総合基礎実技教室（アトリエ2号棟1・2階）、その他野外展示

「遊び場を広げる」

お問い合わせ

京都市立芸術大学事務局教務学生課 美術教務担当

Tel 075-334-2220（土日祝を除く 8:30-17:15）

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13-6 | <http://www.kcua.ac.jp>

京都市立芸術大学

総合基礎実技展

「遊び場を広げる」

「総合基礎実技」とは

「総合基礎実技」は、美術学部の新入生が所属科の枠を超えたクラス編成のもと、様々な分野の教員からの指導を受けつつ、造形芸術の各領域に通じるテーマに取り組む授業です。各課題は、関連講義、ワークショップ、チュートリアル（個別指導）、個人またはグループによる制作、学外研修、発表、合評を組み合わせた多彩な内容で展開されます。

芸大生はからだを動かし何かをつくりあげてを求められ、そしていやおうもなく、つくる過程、つくりあげたものを介して関係を結んでゆきます。今回は「自律と遊び：playful autonomy」をテーマとして、みずから遊び場をつくり、それを拡げてゆくことを目指しました。遊び場はひとりひとりの表現だけでなく、新たなひとやものとの、思いもかけない関係が生まれる場所でもあります。「総合基礎実技展」がそのように刺激的な遊び場、開かれている場所であることを願っています。

2017年度「総合基礎実技」カリキュラム

第一課題「春を遊ぶ」

鉛筆をペンとインクに持ちかえ、大学構内の一本の樹を写生する。春の日々変化するモチーフに新たな道具で取り組むことで、表現の可能性を広げる。(4月11日-4月28日)

第二課題「ひとりあそびを遊ぶ」

子どもの頃の遊びは制作と結びつくか？社会とどのような関係を結ぶか？遊びを共有することで得ること、失うものは何か？これらの問いと向き合う。(5月1日-5月30日)

第三課題「わたしをめぐる散歩」

洛西地域に散歩に出かけ、各自が気になるアイテム、人、風景を拾いあつめる。それぞれのユニークな表現によって各自の「本/ぼん」を編む。(5月31日-6月21日)

第四課題「みんなの京芸を創る」

「わたし」から「わたしたち」に目を転じる。「わたしたち」が課題を発見し、発想、発案、発信へと結びつけて、「みんなの京芸」を創りあげる。(6月21日-7月14日)

総合基礎実技展「遊び場を広げる」

四つの課題作品を大学構内に展示する。「みせる」技法を学び、作品を楽しむ場をつくる。



JR 京都駅から | 京阪京都交通バス 2・14・28 系統「芸大前」下車すぐ
市バス 73 系統「国道省掛口」徒歩 10 分

阪急桂駅 東口から | 京阪京都交通バス 1・2・13・14・25・28 系統「芸大前」下車すぐ

お問い合わせ

京都市立芸術大学事務局教務学生課 美術教務担当

Tel 075-334-2220 (土日祝を除く 8:30-17:15) | 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13-6

<http://www.kcuu.ac.jp>